



漬物製造業、味噌・しょうゆ製造業、
 麺類製造業、菓子製造業、セメント瓦製
 造業、コンクリート製品製造業。

(ト) 宇城事務所管内

船舶製造業、砕石業、味噌・しょうゆ
 製造業、海そう加工業、白玉粉製造業、
 缶詰製造業(みかん、くり、あさり、た
 けのこ)、粘土瓦製造業、水産練製品製
 造業、辛しれんこん製造業。

(チ) 八代事務所管内

い草加工業、製茶製造業、い草関連産
 業(肥料整経業、乾燥機製作等)、船舶
 製造業、粘土瓦製造業。

(ニ) 芦北事務所管内

製材・木材業、石灰・炭カル製造業、
 製茶製造業、煮干製造業。

(ク) 天草事務所管内

煮干製造業、船舶製造業、水産練製品
 製造業、天草陶石、缶詰・びん詰製造業
 (みかん、うに等)、海そう加工業、真
 珠加工業。

(カ) 球磨事務所管内

球磨焼酎製造業、製材業、木材チップ
 製造業、たけのこ缶詰製造業。

これらの地場産業は、そのほとんど
 が、その地域に産出する物産を主原料と
 して加工又は製造するものであるか、又

(エ) その他

茶は現在消費の伸び悩みの傾向にあ
 る。したがって茶の生産、製造につい
 ては消費者のニーズに合った商品を生
 産しよう努力する必要がある。
 ・茶の専業農家の育成を図ること。
 ・茶の生産農家に対する指導の徹底。
 ・流通過程で現状にそわない点がある。

は、長い歴史のもと、その技術を継承し
 て今日に至っているものであります。

二、主要業種の概要

① 製茶製造業

(イ) 業界の概要

当業界の事業者数、販売出荷額、従業
 者数の推移を工業統計で見ますと、事業
 者数においては減少傾向にある反面、製
 造品出荷額においては五十三年に比し
 一・二・五倍伸びていることが(表一)
 でわかります。

このことは規模が若干拡大している
 も言えますが、従業員規模からすると一
 企業平均二・四人とまだまだ零細であり
 ます。

(ウ) 茶の商品評価調査

県内の小売店、県外の卸売店に対する
 本県茶の商品評価調査を実施しました結
 果次のことが言えます。

(ア) 熊本県産茶の外観について

熊本県は元来玉緑茶の生産県であり、
 技術的には普通せん茶に対する歴史は
 浅い、したがって形状が比較的悪い。
 ただ、ここ二・三年かなりの改善が見
 られる。

県内のお茶でも外観の良い商品もある
 が反面悪い商品も多い、したがって多
 量の取引をする場合は外観の良い商品
 の取引が困難である。

(b) 味について

熊本のお茶の質は多少京都の宇治茶に似
 ている。したがって鹿児島、宮崎県産
 茶よりも良質なものが多く、

お茶生産のための適地を定め産地とし
 て育成を図ることが大事である。

茶の評価として過去においては形にと
 らわれがちだったものが味本位に変わ
 ってきた。今後は消費者のニーズであ
 る深蒸傾向の味作りに一層努力する必
 要がある。

消費地によって茶の嗜好は違うため、
 生産者、加工業者、流通業者、消費者
 が一体となったお茶作りが大事であ
 る。

(c) 水色について

荒茶の製造工程で茶の外観、茶の色を
 良くする(緑色)ため蒸気で生葉ころ
 しをしているが、若蒸のため九月頃
 になると外観、茶の色がうすくつやがな
 くなる。

濁る場合がある。

力(充実感)のある茶が少い。

(d) 香氣について

形状及び水色本位に生産するので香氣
 が不足する。
 ・荒茶加工迄の生葉のいたみがはげしい
 ため香氣が不足する。

製茶業出荷等の推移 (表一)

項目 年度	事業所数	出荷額	従業者数	備考
53 (a)	202 (所)	174,309 (万円)	— (人)	53年の従業者につ いては不明
54 (b)	191	196,045	457	
前年比 (b/a)	94.6 %	112.5 %	—	

カーを含む。この三十四企業のうち
 その大部分が人吉・球磨地区に集中して
 おり、いわゆる球磨焼酎の産地を形成し
 ています。

(ウ) 球磨焼酎の地域別出荷

昭和五十四年度の球磨焼酎の出荷を地
 域別に見ますと、人吉球磨地区四八・〇
 %、その他県内二六・九%と全体の約七

五%が県内で消費されています。残り
 は、九州地区一〇・五%、関西地区二・
 一%、関東地区一〇・四%、その他二・
 一%となっており、関西地区ではあまり
 人気がないようです。

(イ) 南九州三県における本県の地位

焼酎乙類(本格焼酎)の製成数量を南
 九州三県で見ますと、熊本県は相対的に
 その地位が低下しています。もっとも伸
 びが著しいのは、「そば焼酎」、「麦焼
 酎」等を生産している宮崎県であり、又

南九州3県の県別製成数量の構成比 (表二)

年度	熊本県	宮崎県	鹿児島県	計
50	9.7	21.4	68.9	100.0 %
52	9.7	21.8	68.5	100.0 %
54	7.7	26.4	65.9	100.0 %